

2014年11月1日更新

マイクロCOモニター専用

「“コブラ” ソフトウェア」

バージョン 2.03

製品コード CB1000

操作説明書



SCETI

目 次

1. パッケージ内容	2
2. 動作環境	2
3. インストール方法	2
4. 基本的な操作方法	4
5. 操作方法	9
1、Check for Updates の操作方法	
2、Uninstall の操作方法	
6. メニューバーの操作方法	11
1、ツールバーの説明	
2、メニューバーの説明	
7. トラブルシューティング	12

1. パッケージ内容

- ◆ **COBRASOFTWARE** 【“コブラ”ソフトウェア(CDソフト)】 1 枚
- ◆ **COBRA CO Breath Analysis Software User's Guide** 【英文操作説明書】 1 冊
- ◆ マイクロCOモニター接続用シリアルケーブル(RS232C端子) 1 本
- ◆ マイクロCOモニター専用「コブラ」ソフトウェア」操作説明書 1冊(本書)

2. 動作環境

対 応 O S : Microsoft® Windows 95, Windows 98, Windows 2000, Windows Millennium Edition(Me), Windows XP, Windows NT, Windows Vista, Windows 7

C P U : 486 プロセッサ以上 (Pentium以上を推奨)

R O M : 8MB以上 (16MB以上を奨励)

ハードディスク容量 : 2MB以上の空き容量

必要なシステム : 起動可能なCD-ROMドライブ

対 応 ソ フ ト : Microsoft® Word 95 以上 Word 2010 まで

パソコン側接続プラグ : シリアルポート RS 2 3 2 C 入力端子(9ピン=写真1)※1
シリアルポートCOM1又はCOM2

※1 パソコンにシリアルポート RS 2 3 2 C 入力端子(9ピン=写真1)があるかご確認ください。

USB端子のみ搭載のパソコン(写真2)をご使用される場合は、別途RS 2 3 2 CとUSBの変換ケーブル(写真3)が必要になります。お買い求めの上、ご使用下さい。

※変換ケーブルは、パソコンと接続機器の組み合わせによっては正常に作動しないことがあります。

※Microsoft および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation およびその関連会社の商標です。

※本説明書内に掲載されているパソコン画面には、一部 Microsoft® Word 2003, Microsoft® Word 2007, Windows XP, Windows Vista® が混在しています。



写真1



写真2



写真3

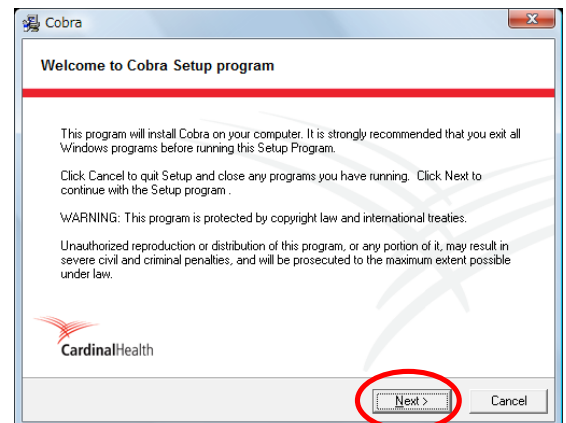
(写真はイメージです)

3. インストール方法

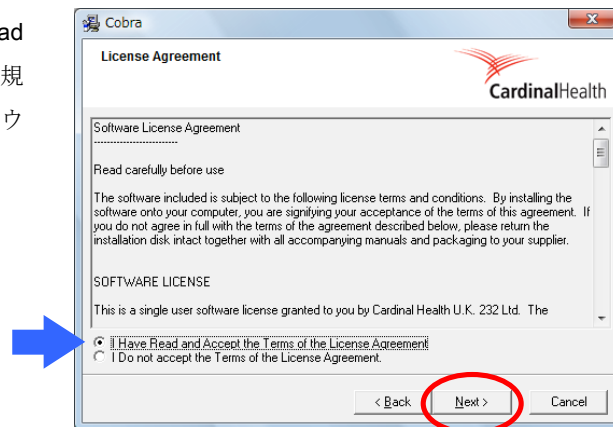
① Windowsを起動します。

他に使用しているアプリケーションがありましたら、全て終了させて下さい。

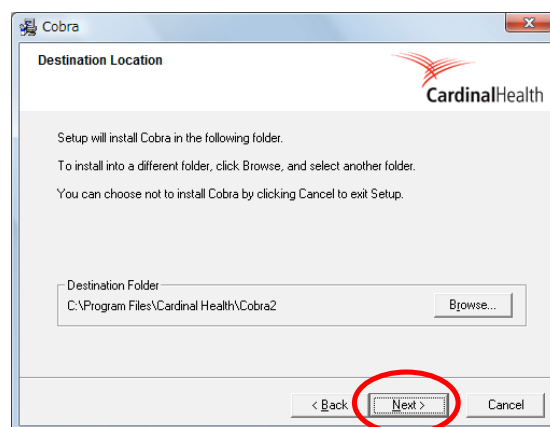
② COBRASOFTWARE[“コブラ”ソフトウェア(CDソフト)]をCD-ROMドライブに挿入します。CD-ROMは挿入後、自動的に読み取りを開始します。右のウィンドウが表示されたら、下の「Next>」をクリックして下さい。



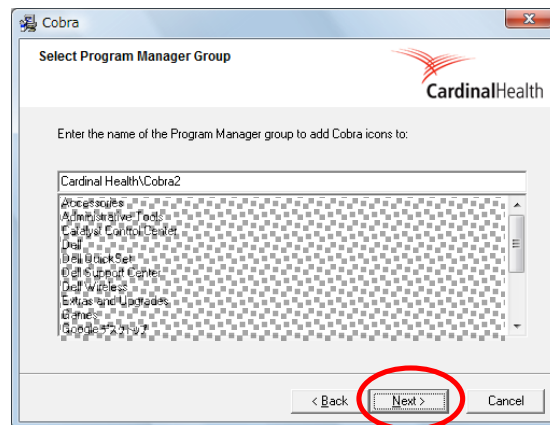
- ③ ライセンス承諾を求めるウインドウが表示されます。I Have Read and Accept the Terms of the License Agreement（ライセンス認証規約を読み、承諾いたします）の左側にある○にチェックを入れ、ウインドウの下の「Next>」をクリックして下さい。



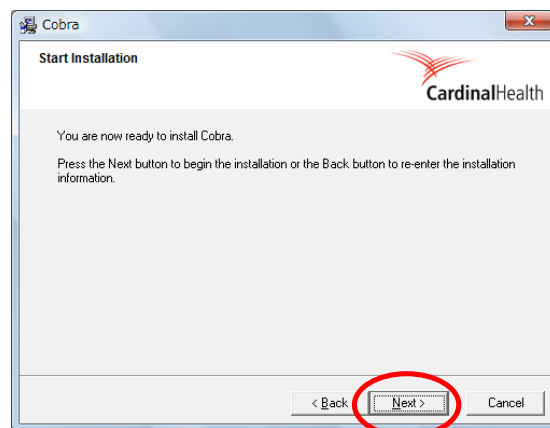
- ④ ファイルをインストールする場所を指定します。変更せずに自動的に割り当てられた場所にインストールします。「Next>」をクリックして下さい。



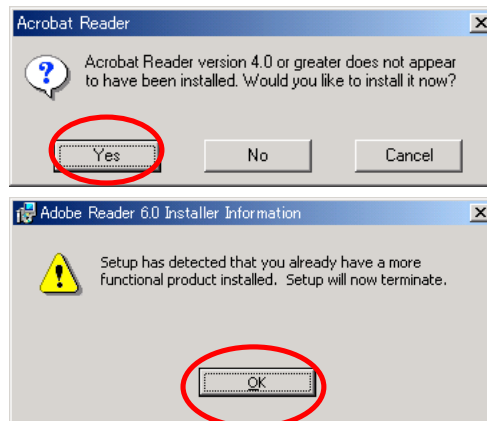
- ⑤ “コブラ” ソフトウェアのアイコンを加えるプログラムマネージャグループの名前を入力するように指定されます。変更せずに「Next>」をクリックして下さい。



- ⑥ インストールを開始します。「Next>」をクリックして下さい。

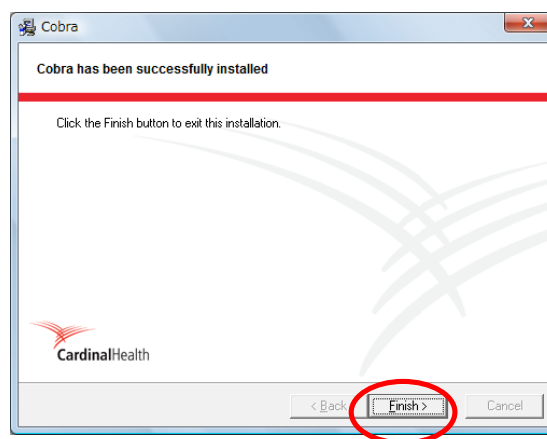


- ⑦ Microsoft® Word2003 以前の場合、画面上に Acrobat Reader4.0 以上のインストールを求めるメッセージが表示される場合があります。これは“コブラ”ソフトウェアと同時にインストールされる英文の User Guide(ユーザガイド)を表示するのに必要なソフトです。「Yes」をクリックして下さい。



既に Acrobat Reader4.0 以上がインストールされている場合は、右の表示がされます。「OK」をクリックして下さい。

- ⑧ 全てのインストールは終了です。「Finish>」をクリックして下さい。



4. 基本的な操作方法

- ① 『マイクロCOモニター接続用シリアルケーブル』をパソコンに接続します。

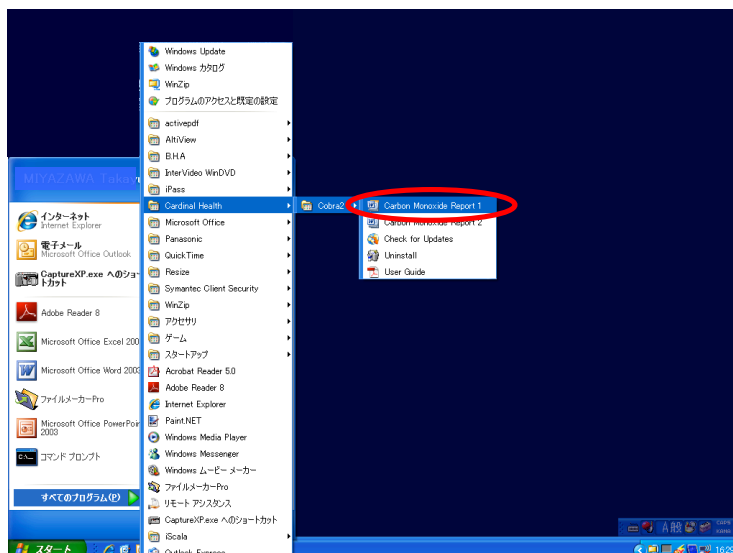
- 『マイクロCOモニター接続用シリアルケーブル』を直接パソコンに接続する場合
パソコンの電源を入れる前に接続します。一度パソコンの電源を切り、シリアルケーブルをパソコンに接続した後、パソコンの電源を入れて下さい。
- 『RS232CとUSBの変換ケーブル』を利用してパソコンに接続する場合
パソコンの電源を入れたまま、USB端子をパソコンに接続して下さい。
(通常、変換ケーブル用のドライバをインストールする場合も、あらかじめUSB端子をパソコンに接続した後に行います。詳細は変換ケーブルに付属の取扱説明書をご確認下さい。)

- ② 『マイクロCOモニター接続用シリアルケーブル』をマイクロCOモニター本体に接続します。


- ③ “コブラ”ソフトウェアを起動します。

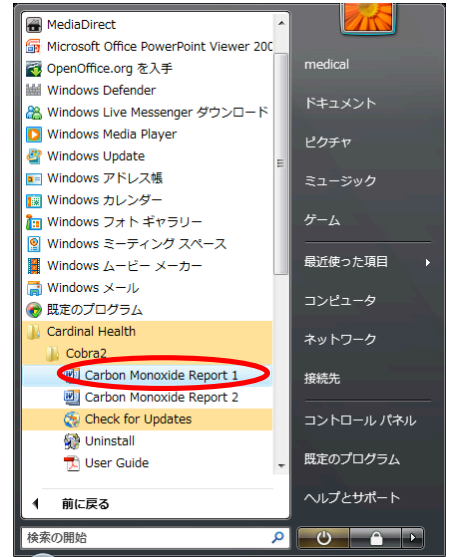
- Microsoft® Word2003 以前の場合。

画面左下の「スタート」をクリック→「すべてのプログラム(P)」をクリック→「Cardinal Health」をポイント→「Cobra 2」をポイント→「Carbon monoxide Report1」をクリックして、“コブラ”ソフトウェアを起動して下さい。



●Microsoft® Word2007 の場合

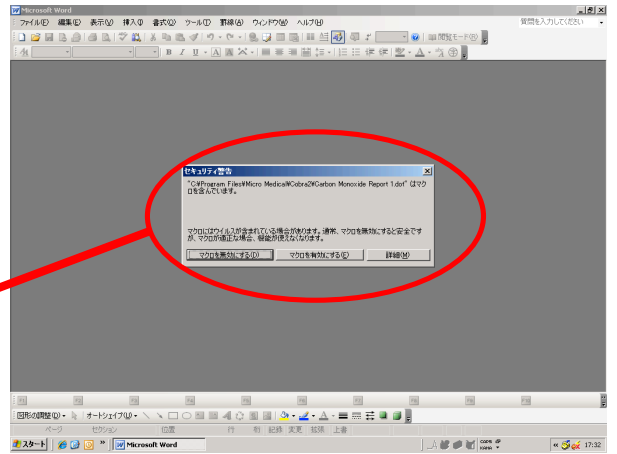
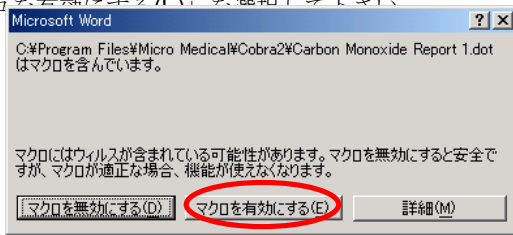
画面左下のをクリック→「すべてのプログラム(P)」をクリック→「Cardinal Health」をポイント→「Cobra 2」をポイント→「Carbon monoxide Report1」をクリックして、「コブラ」ソフトウェアを起動して下さい。



④ セキュリティの設定

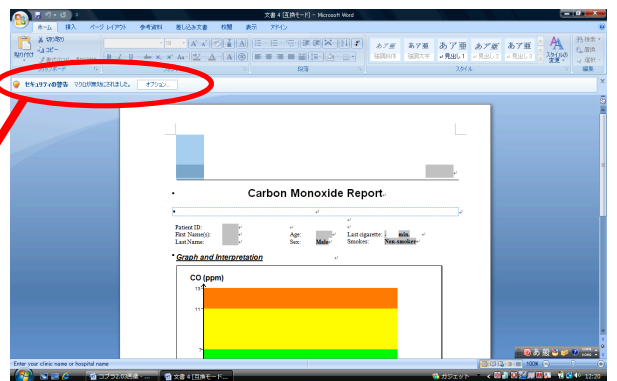
●Microsoft® Word2003 以前の場合

プログラム起動中にマクロ内のウィルスの危険を告知してきます。この「コブラ」ソフトウェアは Word のマクロ機能を使用しますので、「マクロを有効にする(E)」を選択して下さい。

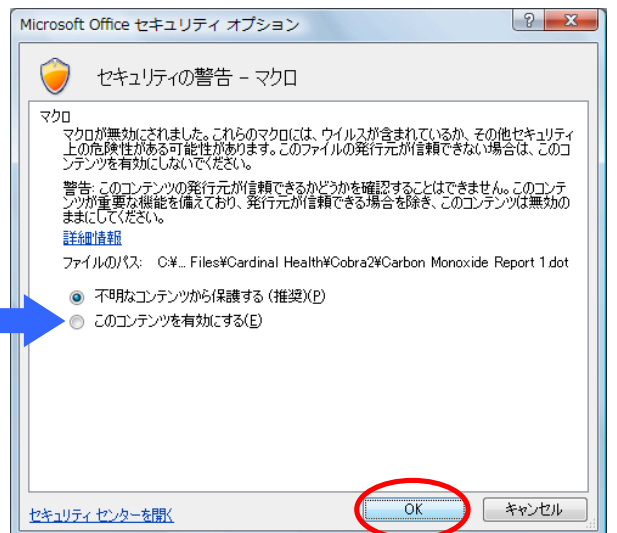


●Microsoft® Word 2007 の場合

プログラム起動中に画面左上に右のような表示が出ますので、「オプション...」をクリック→「Microsoft Office セキュリティ オプション」のウインドウを表示します。

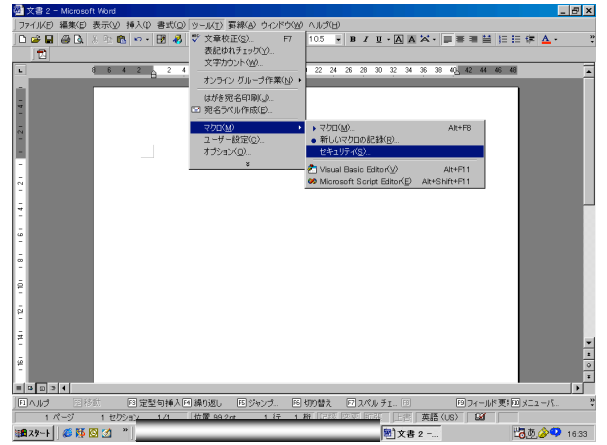


「このコンテンツを有効にする(E)」の左側にチェックを入れて右下の「OK」をクリックします。

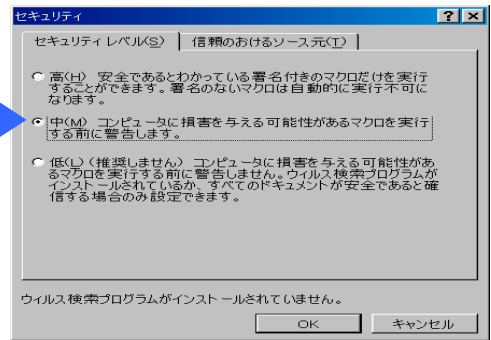


注意：Microsoft® Word 2000～2003 を使用されている場合

1. “コブラ” ソフトウェアを起動させる前に、Word のセキュリティレベルを中に設定します。一度“コブラ”ソフトウェアを終了させ、Word を起動させます。次にメニューバーの「ツール (T)」をクリック→「マクロ(M)」をポイント→「セキュリティ(S)...」をクリックすると、セキュリティのウィンドウが表示されます。「セキュリティ レベル(S)」のタブをクリックし、中 (M) の左の○にチェックを入れ、「OK」をクリックして下さい。



2. 再度、“コブラ” ソフトウェアを起動させます。



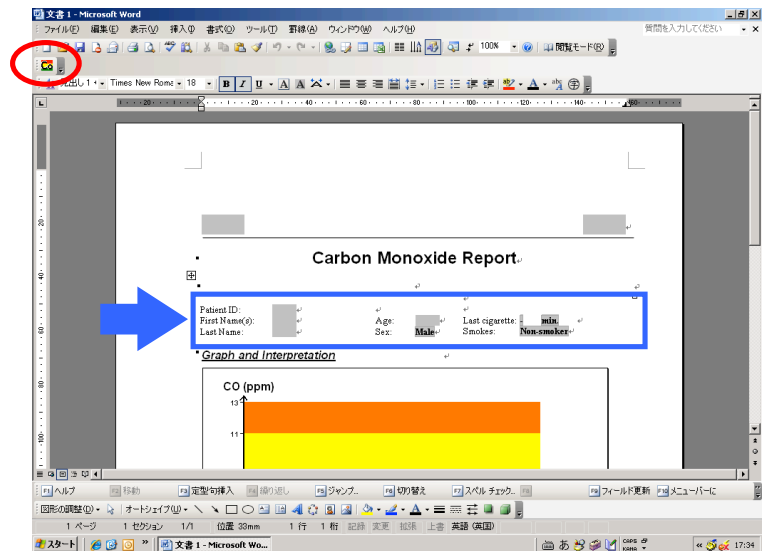
- ⑤ 呼気一酸化炭素の測定準備をします。

Carbon Monoxide Report の青枠部分は手入力が可能です。必要に応じ被験者の情報を入力して下さい。入力を行わなくても測定は可能です。

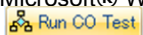
●Microsoft® Word2003 以前の場合



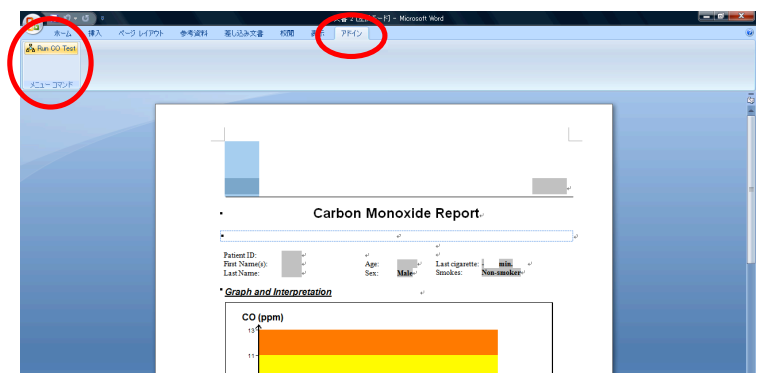
赤丸の のボタンをクリックして下さい。



●Microsoft® Word2007 の場合



メニューバーの「アドイン」をクリック→ツールバーの をクリックして下さい。



⑥ 『Carbon Monoxide Test』の画面が開きます。

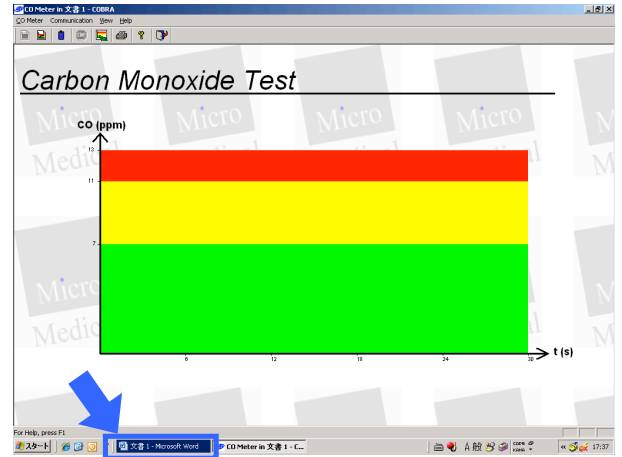
<初期設定>

0～7 ppm 緑色

7～11 ppm 黄色

11 ppm 以上 赤色

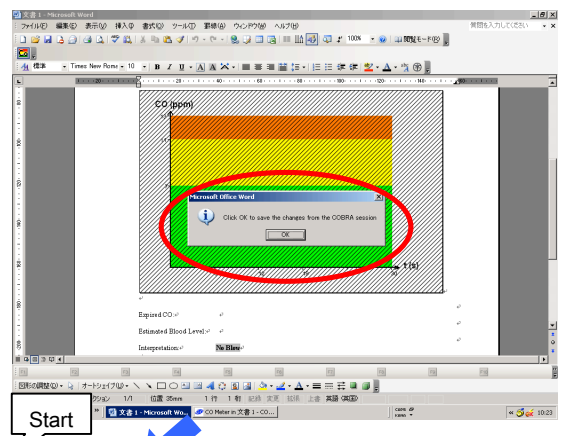
● 詳細は、『5,メニューバーの操作方法』の「Change Levels」をご覧ください。



注意: ツールバーの「文章1-Microsoft Word」の点灯について

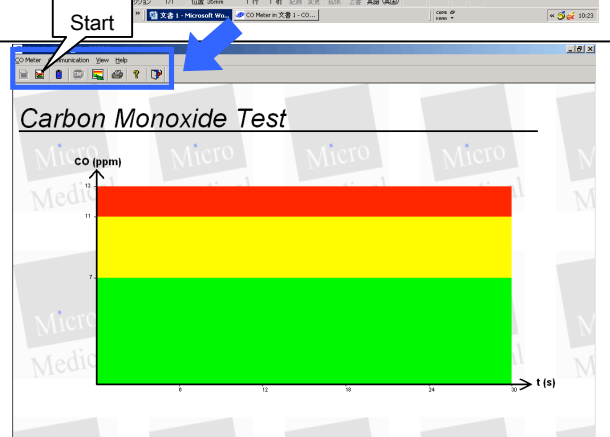
右上⑥の画面になった際、ツールバーに「文章1-Microsoft Word」のボタン(青枠の部分)が点滅します。これは、このページに何らかのウィンドウが開いた事を知らせています。

「文章-Microsoft Word」をクリックすると、右のウィンドウが開いていることが分かります。マイクロ CO モニターで測定する前には、赤丸内の「OK」ボタンをクリックしないで下さい。

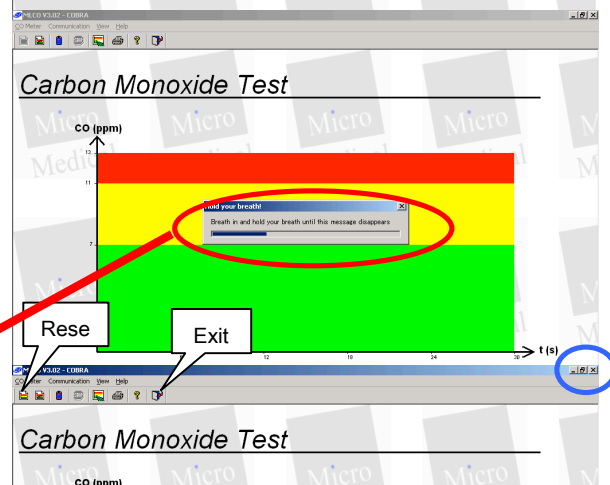
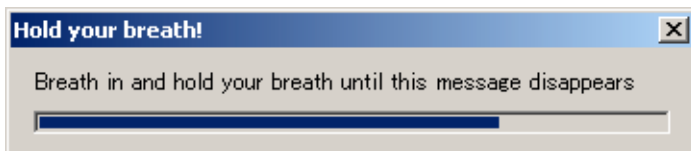


⑦ 測定を開始します。マイクロCOモニター本体の電源を入れ、左上の「Start」をクリックして下さい。

以後の操作は マイクロ CO モニターの電源を入れたまま、電源を切らないで、測定終了まで全て左上の青枠のツールバーで操作します。マイクロCOモニター本体の電源は5分間操作が行われないと自動的に切れます。再度電源を入れ直して下さい。



⑧ マイクロCOモニター本体がパソコンに正しく接続されていれば、初期設定の場合、本体のブザーが鳴り、右の画面のようにウィンドウを表示し、20秒からカウントダウンされます。このウィンドウ表示が消え、マイクロCOモニター本体の液晶画面に「BLOW」が表示されたことを確認してから、呼気を吹き込み、測定を行って下さい。



- ⑨ 測定結果がグラフに表示されます。

※グラフの下にある情報は以下の通りです。

Expired CO: CO濃度
Estimated Blood Level: 血液中のCOヘモクロビン濃度
Interpretation: 喫煙状況

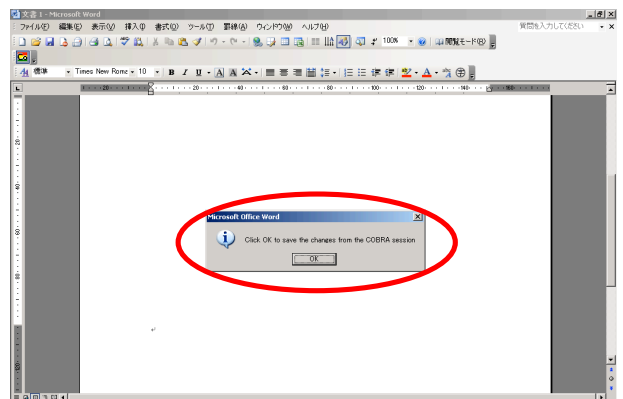
連続使用する際は、左上のツールバーの「Reset」をクリックして現在表示のグラフを消去し、再度「Start」をクリックして測定して下さい。

測定結果を印刷する場合、または測定を終了する場合は「Exit」をクリックして下さい。画面の右上、Wordの終了アイコン (青丸の部分) で終了しないで下さい。

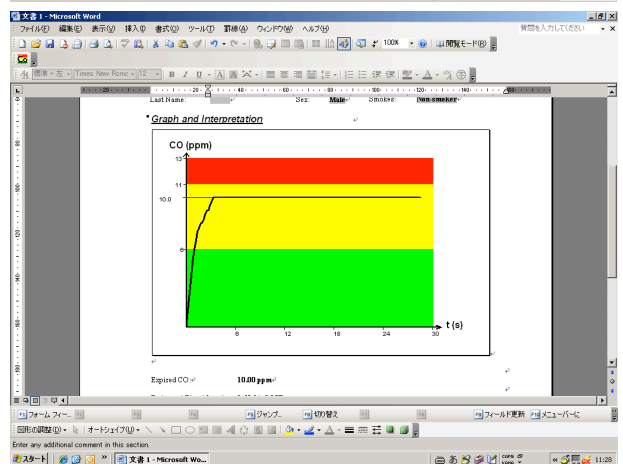


- ⑩ 測定結果をWordで表示します。

「Click OK to save the changes from the COBRA session」のウインドウが表示されますので「OK」をクリックして下さい。



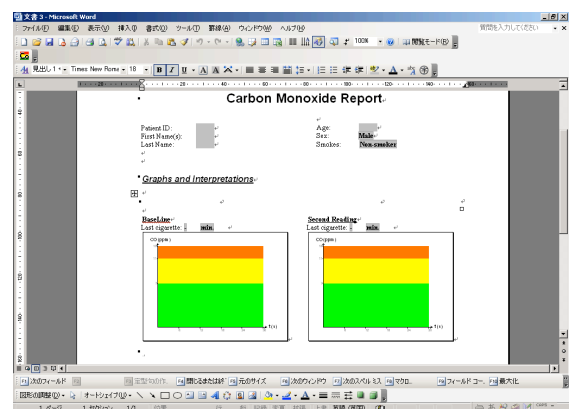
右の画面のように Word で表示されます。印刷・保存の方法は、Word 文章と同じです。



※プログラム『Carbon Monoxide Report 2』について

“コブラ”ソフトウェアを起動する際に『Carbon Monoxide Report2』を選択すると、一番最初に測定した結果が左側に残り、2回目以降に測定した結果が常に右側に表示されます。最初の測定結果と常に比較する場合に活用すると便利です。

基本的な使用方法は、『Carbon Monoxide Report 1』と同じです。



5. 操作方法

Carbon Monoxide Report 1 : “コブラ”ソフトウェアを起動する際に使用します。使用法は、前項『4. 基本的な操作方法』をご参照下さい。

Carbon Monoxide Report 2 : Carbon Monoxide Report 1 とほぼ同様です。詳細は、前項目『4. 基本的な操作方法』の一番最後をご参照下さい。

Check for Updates : “コブラ”ソフトウェアを最新の状態に更新します。パソコンの使用環境がインターネットに接続している必要があります。(詳細は下記1)

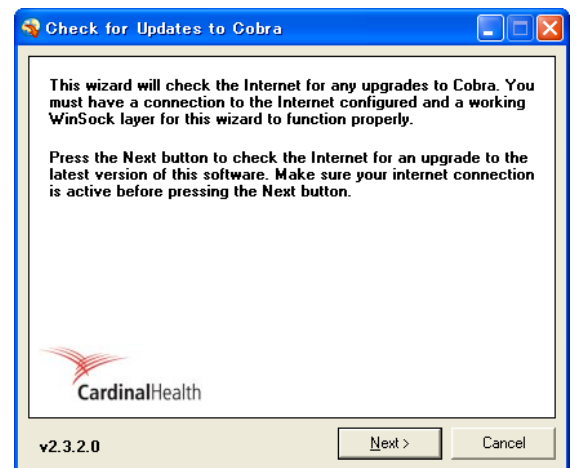
Uninstall : “コブラ”ソフトウェアを消去する場合に使用します。(詳細は下記2)

User Guide : 英文の User Guide (ユーザーガイド)が表示されます。

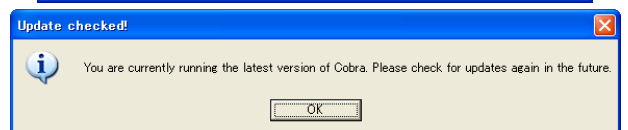
1. Check for Updates の操作方法

現在ご使用の“コブラ”ソフトウェアを最新の状態に更新する場合に使用します。パソコンの使用環境がインターネットに接続している必要があります。

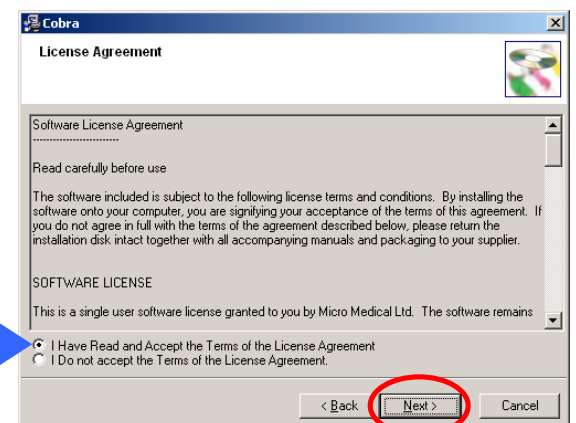
- ① **Check for Updates** をクリックすると“コブラ”ソフトウェアの更新プログラムが起動します。右の表示が出たら、下の「Next>」をクリックして下さい。現在のソフトが最新の状態かを確認します。



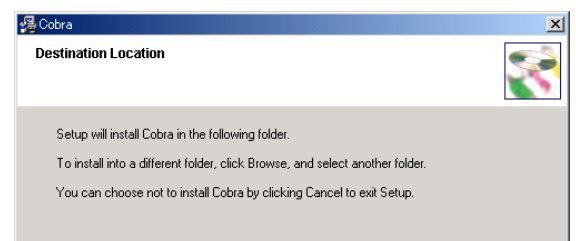
※右の表示が現れた場合は、現在ご使用の“コブラ”ソフトウェアは最新の状態ですので、更新の必要はありません。



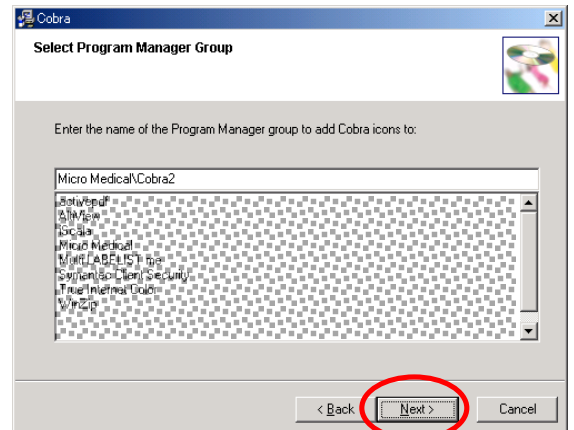
- ② ライセンス承諾を求めるウインドウが表示されます。I Have Read and Accept the Terms of the License Agreement (ライセンス認証規約を読み、承諾いたします) の左側にある○にチェックを入れ、ウインドウの下の「Next>」をクリックして下さい。



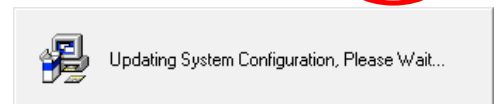
- ③ ファイルをインストールする場所の指定をします。変更せずに自動的に割り当てられた場所にインストールします。「Next>」をクリックして下さい。



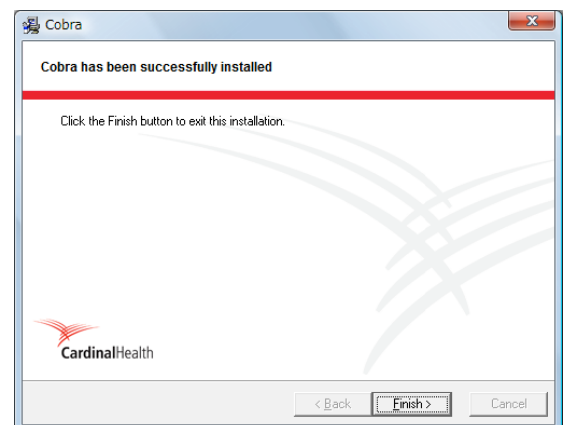
- ④ “コブラ” ソフトウェアのアイコンを加えるプログラムマネージャグループの名前を入力するように指定されます。変更せずに「**Next>**」をクリックして下さい。



- ⑤ ダウンロードが開始されます。

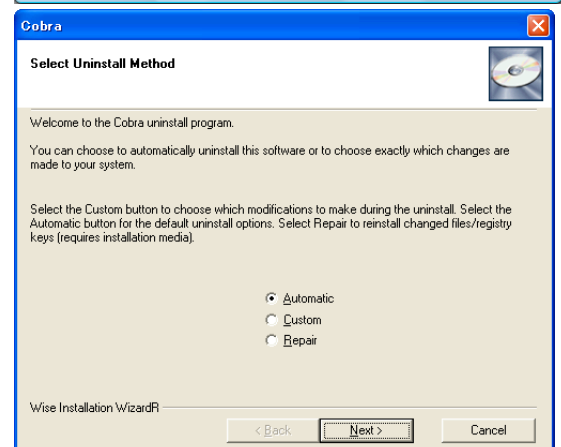


- ⑥ 全てのダウンロードは終了です。「**Finish>**」をクリックして下さい。

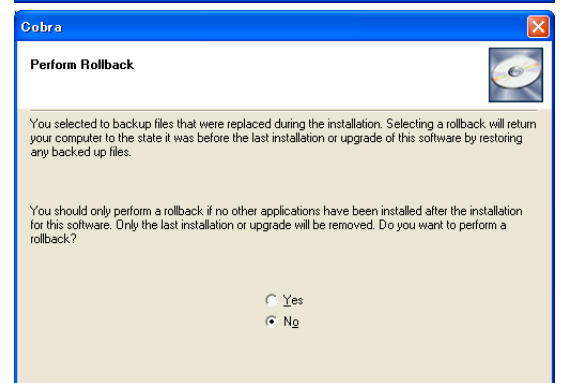


2. Uninstall の操作方法

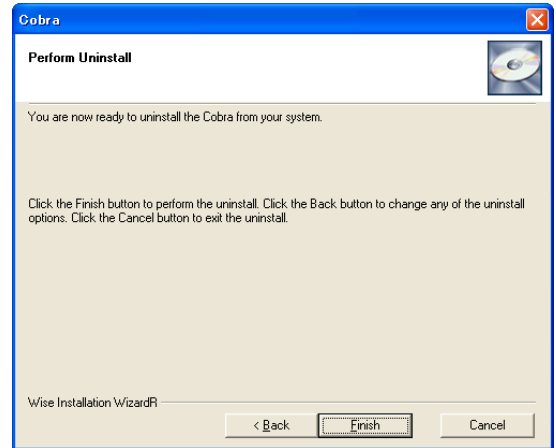
- ① **Uninstall** をクリックすると、“コブラ” ソフトウェアの削除プログラムが起動します。削除方法を選択します。通常の削除の場合は「**Automatic**」の左側の丸にチェックをして「**Next>**」をクリックして下さい。



- ② “コブラ” ソフトウェアに関連したプログラムに対する処理方法を選択します。「**No**」を選択して「**Next>**」をクリックして下さい。

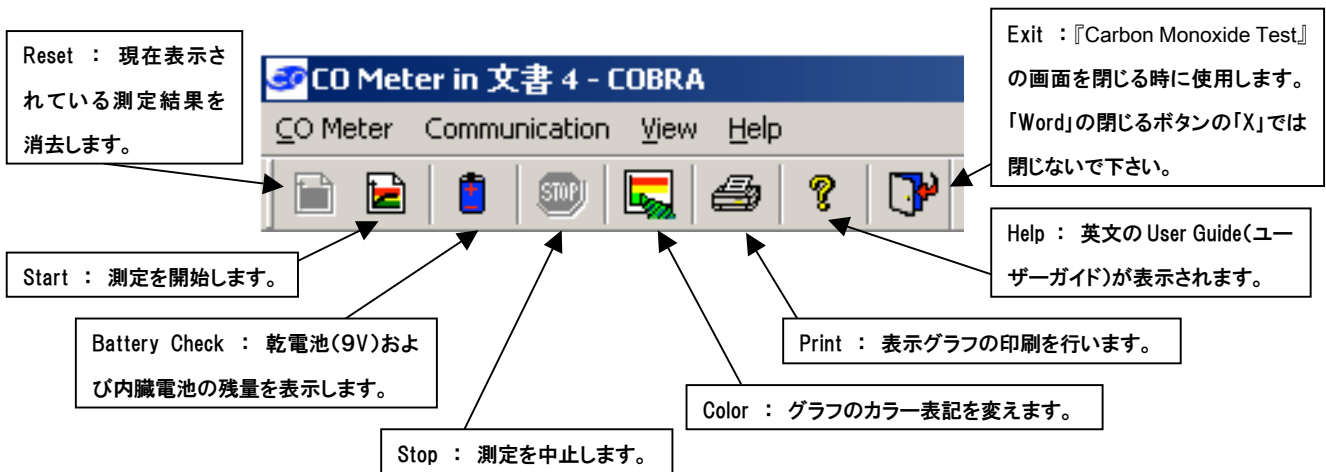


- ③ 「Finish」をクリックして終了になります。プログラムは削除され、空のファイルが残ります。



6. メニューバーの操作方法

1、ツールバーの説明



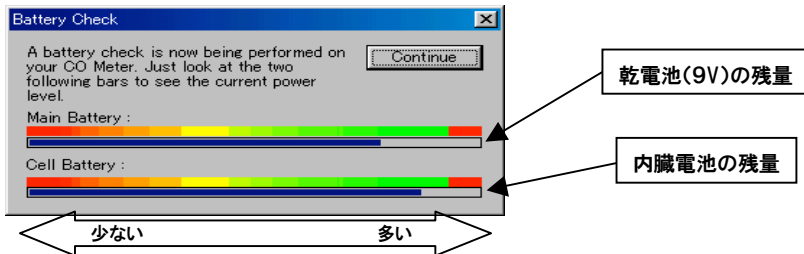
2、メニューバーの説明

●「CO Meter」

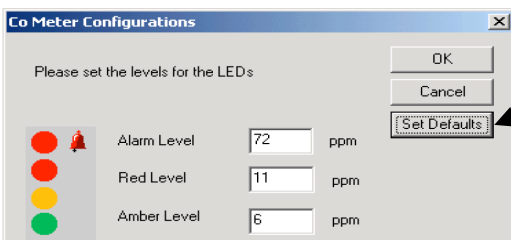
「Start Blow」 : 測定を開始します。

「End Blow」 : 測定を中止します。

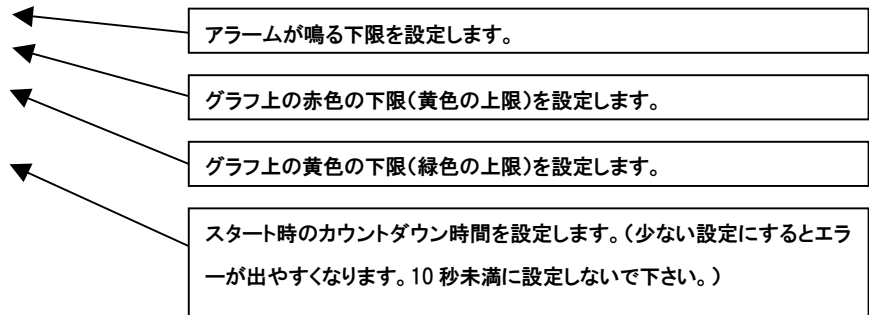
「Battery Check」 : 乾電池(9V)および内臓電池の残量を表示します。



「Change Levels」



全てをデフォルトの設定にします。ただし、Amber Level は本体の初期設定は7ppmです。(左記表示の設定が“コブラ”ソフトウェアのデフォルト設定です。)



「Reset」 :現在表示されている測定結果を消去します。

「Print Blow...」 :表示グラフの印刷を行います。

「Print Preview」 :表示グラフの印刷プレビューを表示します。

「Print Setup...」 :プリンタの設定を行います。

「Exit & Return to 文章1」 :『Carbon Monoxide Test』の画面を閉じます。

●「Communication」 :「Port 1～6」の設定を行います。(詳細は『6、トラブルシューティング』の項目3をご覧ください。)

●「View」

「Toolbar」 :ツールバーの表示・非表示の設定を行います。(初期設定は“表示”になっています。)

「Status Bar」 :ステータスバーの表示・非表示の設定を行います。(初期設定は“表示”になっています。)

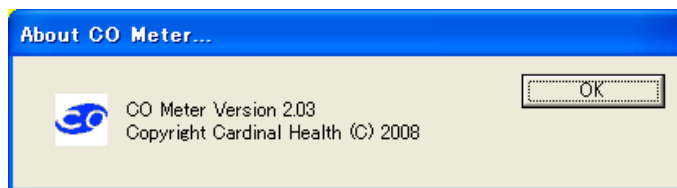
「Smooth」 :「1～5 Point」の間で、折れ線グラフの“滑らかさ”の設定を行います。

「Colors」 :表示グラフを「Bands(帯状)」と「Rainbow(虹状)」の設定を行います。(初期設定は“帯状”になっています。)

●「Help」

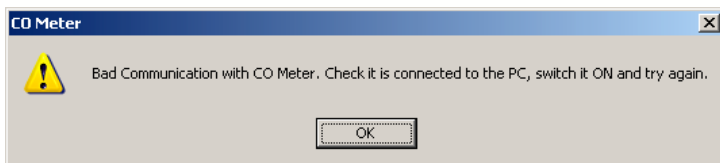
「Help topics」 :「CO METER Application Help(英文のヘルプ)」の表示を行います。

「About CO Meter...」:対応するマイクロ CO モニターのバージョンを表示します。マイクロ CO モニターのバージョンは、本体の電源を入れた瞬間に表示されます。下記の場合は、マイクロ CO モニターのバージョンが2.03以降の対応となります。



7. トラブルシューティング

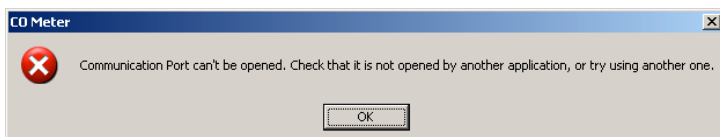
1. エラーメッセージが次の場合



理由 : パソコンがマイクロ CO モニター本体を認識していないことを示しています。

- 対処法
- ・接続に問題はありませんか？
 - ・電源は入っていますか？
 - ・Port・COM 設定の問題の可能性あります。(詳細は下記項目 3 をご覧ください。)

2. エラーメッセージが次の場合



理由 : パソコンはマイクロ CO モニター本体を認識しているが、Port・COM が使用できないことを示しています。

- 対処法
- ・ Port の設定を変更して下さい。メニューバーの「Communication」をクリック→「Port 1」から「Port 6」までの左側にチェックを入れ、“コブラ”ソフトウェアが問題なく作動する Port を探して下さい。
 - ・ Port・COM 設定の問題の可能性があります。(詳細は下記項目3をご覧ください。)

3. Port・COM の設定について

＜パソコン側の COM＞と＜“コブラ”ソフトウェアの Port＞が一致していない、または使用できない箇所に設定されている場合にエラーが表示される場合があります。以下の対処方に従って解決して下さい。

①. ＜パソコン側の COM＞を確認します。

- 『マイクロ CO モニター接続用ケーブル』をパソコンに接続します。
- 左下「スタート」をクリック→「コントロールパネル」をクリック→「システム」をクリック→「システムのプロパティ」のウインドウを表示します。
- 「ハードウェア」タブをクリック→「デバイス マネージャ(D)」をクリックします。
- 「ポート (COM と LPT)」の左側の田字マークをクリックし、「通信ポート(COM×)」の×がいくつになっているかを確認して下さい。COM 7 以上が選択されている場合は、「通信ポート(COM×)」をダブルクリック→「ポートの設定」タブをクリック→「詳細設定」をクリック→「COM ポート番号(P)」の項目を展開し、「COM 1～6」の中で (使用中) の表示が無いものを選択しなおして下さい。

②. “コブラ”ソフトウェアの Port 確認・変更方法

前項『5. メニューバーの操作方法』を参照し「Communication」の項目を開いて、「Port 1～6」を前①で確認した COM 番号と合わせます。

4. その他のエラーメッセージについて

右のエラーメッセージは“Microsoft Word”のマクロ機能に何らかの問題が発生している可能性があります。

“コブラ”ソフトウェア側のエラーでない為、明確な解決法は確認できませんが次の方法で解決できた事例がございます。

- ① 使用している Port と COM の番号設定を変更する
- ② パソコン側の接続口、RS232C 端子あるいは USB 端子を、他の接続口に変更する。



発売元

セティ株式会社

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-6-7

製品に関するお問い合わせは、メールもしくはファックスでお願いいたします。

Fax.03-5510-0133 Mail. microco@sceti.co.jp

製造元

Care Fusion